



いわての 林業人39

1 はじめに

今月は、平成25年度岩手県林業経営推奨行事で最優秀賞を受賞した二戸市浄法寺町の小田島昭夫さん（82歳）をご紹介します。

2 所有山林面積

人工林 109 畝、天然林 36 畝
計 145 畝

3 経営方針

(1) 計画的間伐による優良大径材生産
伐期を80年以上に設定し、本格的な優良大径材生産を目指しています。
間伐等の森林施業は、森林組合に委託し、地元の製材所等と連携を図りながら、林業所得の向上に努めています。

後継者はご子息で、長年一緒に、山林管理のために巡視を継続して行っています。

皆伐跡地は、スギやカラマツ、ウルシ苗を適地に再造林し、「伐ったら植える」を実践しています。

(2) ウルシの育成管理

広葉樹は、森林経営計画に基づき、計画的な伐採を行い、「更新伐」を積極的に進めていくこととしていますが、特に、日本一漆の産地である浄法寺町の伝統樹種であるウルシ苗の植栽を毎年継続して行っています。植栽地約2.5畝は、重要文化財の修理修復に必要な浄法寺漆の安定供給を目指して管理しています。



ウルシ造林地

(3) 高密度路網整備による低コスト化
低コスト経営を進めるため、路網の高密度整備により、間伐材と有用広葉樹の搬出作業を効率的に進めています。

路網整備状況は、林道千1000m、作業道9千700m、計1万8000mを積極的に開設し、現在、畝当たり、約74mの高密度路網を実現しています。

4 地域林業の振興に対する貢献

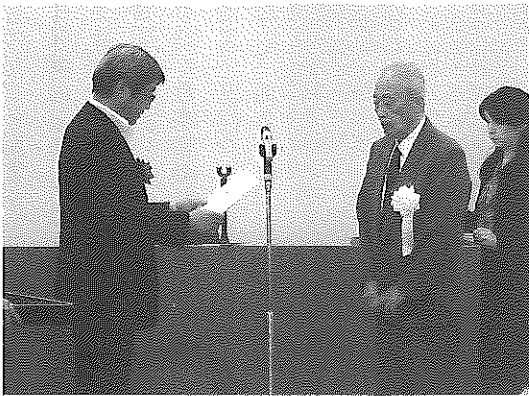
小田島氏は、浄安森林組合の理事や組合長を30年以上務め、地域林業の先導的役割を担ってきており、地元の高齢者として活躍しています。さらに、所有森林を小中学校の森林教育、林業体験の場として開放するなど、森林・林業教育にも積極的に取り組んでいます。

5 おわりに

小田島昭夫さんは平成26年度全国林業経営推奨行事へ推薦していただくこと、林野庁長官表彰に決定しました。

林業技術センター普及班

019(698)1337



岩手県林業経営推奨行事 最優秀賞受賞

☆ 今月の表紙の写真 ☆

(タイトル)

「グラップル操作はUFOキヤッチャーみたいで楽しい!!」

(提供者)

林業技術センター

(コメント)

林業技術センターでは、林業を学んでいる高校生を対象として、『高性能林業機械基本操作研修』を毎年実施しています。

高性能林業機械を実際に操作したことで、高校生には林業という仕事をより身近に感じてもらうための研修ではないかと思えます。

